

日高市子ども議会

～日高市のこれからのために、何ができるのかみんなで考えました～



7月27日、小学生が1日子ども議員となり市政について質問をする子ども議会を開催しました。市内の小学6年生12人が鈴木健夫議長から子ども議員の任命書を受け、午前10時に市議会議場に入場。議席に着くと、子ども議長から開会の宣告が行われ、高麗川小学校の子ども議員から質問が始まり、子ども議員は緊張しながらも立派に自分の考えを述べていました。終了後は、ホッとした表情も見られ、小学校生活での貴重な体験の一つになったようです。

問い合わせ 議会事務局議会担当



1番 泉慶太郎さん(高麗川小学校)

Q 道からはみ出た草を刈ったり、危ない段差の点検をするなど、みんなにやさしいまちづくりをするのはどうか。

A 「共生社会」の実現を目指し、計画的に整備を進め、やさしいまちづくりを進めていきたいと思っています。

2番 齊藤伶和さん(高麗川小学校)

Q ネットをかぶせただけのごみ集積所について、ボックス型のごみ集積所に変えていくことはどうか。

A 地域や事業所の皆さんに協力してもらいながら、衛生的で使いやすいごみ集積所が増えるように、取り組んでいきます。

3番 石坂智輝さん(高根小学校)

Q 学校にグリーンカーテンの使用、LED照明への交換、ソーラーパネルの設置を行うのはどうか。

A 計画的に学校施設の省エネルギー機器への更新や、再生可能エネルギーの活用を進めていきたいと思っています。

4番 山口陽南心さん(高根小学校)

Q 子どもが生まれた家庭に給付金を渡すこと、子育てをサポートしてくれる施設をつくることはどうか。

A 給付金のほかに、出産に伴うサービスや子育てを支援する施設をもっと広くPRしていくことは大切だと思います。

5番 半田珠晶さん(武蔵台小中学校)

Q 武蔵台3丁目にある七曲公園に時計の設置、除草や明るい花を植えたり、水道やトイレの設置をすることはどうか。

A 他の公園利用者の状況や課題も含め、考えていきたいと思っています。

6番 大根田寧彩さん(武蔵台小中学校)

Q みんながウイルスや病気にかからないために、公共の場に消毒液を置き続けることはどうか。

A ウイルスや細菌に日頃から注意をすることは重要です。しばらくの間は、消毒液の設置を続けていきたいと思っています。

7番 榎本結花さん(高萩小学校)

Q 登下校の見守りやクラブ活動のサポートは高齢者ばかりなので、若い人たちにも学校応援団に協力してもらうのはどうか。

A 学校運営協議会や地域学校協働活動を行う人たちにお伝えし、若い人たちに関わってもらう方法を考えていきたいと思っています。

8番 門馬琉華さん(高萩小学校)

Q 市全体を生かした曼珠沙華の宣伝をするため、計画的に市内各所に曼珠沙華を植え、曼珠沙華通りを作るのはどうか。

A 花壇の管理などを行っているボランティアの皆さんに曼珠沙華の球根を植えていただくなど、取り組み方法を考えていきたいと思っています。

9番 石田奈穂さん(高麗小学校)

Q 学校に不審者が侵入する事件に対処するため、警備員の配置などの防犯対策や不審者に対する防犯教育が必要と考えるがどうか。

A 施設面での防犯対策に併せて、学校の先生による安全管理対策の向上、地域の協力を得た体制づくりなどを進めていきたいと思っています。

10番 成田淑礼さん(高麗小学校)

Q 今後空き校舎になる高麗小学校の活用方法として、体育館の開放や校庭に農園を作る、地域の人に勉強を教える場にするのはどうか。

A 体育館の活用は学校跡地活用のアンケートでも多く望まれています。それぞれ、市民の皆さんと検討していきます。

11番 岡崎博基さん(高萩北小学校)

Q 地産地消を進める取り組みとして、ポスターの作成、個人商店と大型店が共に発展する取り組みを行うことはどうか。

A ポスターの作成は、地域の食材を食べるきっかけになる有効な方法です。引き続き支援を続けていきたいと思っています。

12番 中出千尋さん(高萩北小学校)

Q お年寄りが住みやすい市にするため、子どもたちと昔遊び、困りごとの聞き取りなど、地域で取り組む活動を行うことはどうか。

A 提案してもらった方法を踏まえて、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるという目標に向けて、事業を進めていきたいと思っています。